

前眼部とは、^{がんけん}眼瞼、^{けつまく}結膜、^{きょうまく}強膜（白目）、^{かくまく}角膜（黒目と^{こうさい}虹彩(茶目)）等の総称であり、前眼部撮影とは、それらの部位を写真に記録する事をいいます。撮影方法によっては、^{すいしょうたい}水晶体、^{しょうしたい}硝子体のように眼内部も撮ることが出来ます。

検査方法

普通の写真撮影とほとんどかわりませんが、撮影部位が眼の細部のため、ぶれたりしないよう顔の位置を固定し、10cm くらいの所から光りを当てるため、多少眩しく感じるかもしれません。

また、撮影する部位によっては、^{まぶた}瞼を上げたり、薬剤で疾患部位を染めたりする事もあります。同じ部位を何枚も撮ることがありますが、倍率や向きを変えている為で、疾患の程度（良い悪い）には関係ありません。撮影時間は20~30分位です。



対象疾患

角膜 — 角膜炎・角膜混濁・コンタクトによる損傷等

結膜 — 結膜炎・^{よくじょうへん}翼状片等

眼瞼 — ^{がんけんかすい}眼瞼下垂・^{しゅよう}腫瘍等

強膜 — 上強膜炎等

水晶体 — ^{はくないしょう}白内障・^{がんない}白内障術後の眼内レンズ

